

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和7年4月2日(2025.4.2)

【公開番号】特開2022-185577(P2022-185577A)

【公開日】令和4年12月14日(2022.12.14)

【年通号数】公開公報(特許)2022-230

【出願番号】特願2022-85206(P2022-85206)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/19(2006.01)

10

A 6 1 K 8/06(2006.01)

A 6 1 K 8/894(2006.01)

A 6 1 K 8/891(2006.01)

A 6 1 K 8/37(2006.01)

A 6 1 Q 1/00(2006.01)

A 6 1 Q 1/02(2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/19

A 6 1 K 8/06

A 6 1 K 8/894

20

A 6 1 K 8/891

A 6 1 K 8/37

A 6 1 Q 1/00

A 6 1 Q 1/02

【手続補正書】

【提出日】令和7年3月25日(2025.3.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

30

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

次の成分(A)、(B)、(C)及び(D)：

(A)第四級アンモニウムイオンで置換されたカチオン変性粘土鉱物、

(B)25で液状のフェニル変性シリコーン、

(C)ソルビタン脂肪酸エステル 0.00005~0.3質量%、

(D)ポリエーテル変性シリコーン

を含有する油中水型乳化組成物。

40

【請求項2】

成分(C)に対する成分(B)の質量割合(B)/(C)が、20~80000である請求項1記載の油中水型乳化組成物。

【請求項3】

成分(B)に対する成分(A)の質量割合(A)/(B)が、0.05~1である請求項1記載の油中水型乳化組成物。

【請求項4】

成分(A)の含有量が、0.01~10質量%である請求項2又は3記載の油中水型乳化組成物。

【請求項5】

50

成分(B)の含有量が、1～25質量%である請求項2又は3記載の油中水型乳化組成物。

【請求項6】

成分(D)の含有量が、0.1～10質量%である請求項2又は3記載の油中水型乳化組成物。

【請求項7】

成分(C)の含有量が、0.0001～0.3質量%である請求項2又は3記載の油中水型乳化組成物。

【請求項8】

さらに、(E)25で液状のエステル油を含有する請求項2又は3記載の油中水型乳化組成物。 10

【請求項9】

さらに、油性ゲル化剤を含有する請求項2又は3記載の油中水型乳化組成物。

【請求項10】

さらに、着色顔料を含有する請求項2又は3記載の油中水型乳化組成物。

【請求項11】

皮膚用油中水型乳化化粧料である、請求項2又は3記載の油中水型乳化組成物。

【請求項12】

次の成分(A)、(B)、(C)及び(D)：

(A)第四級アンモニウムイオンで置換されたカチオン変性粘土鉱物、 20

(B)25で液状のフェニル変性シリコーン、

(C)ソルビタン脂肪酸エステル 0.00005～0.3質量%、

(D)ポリエーテル変性シリコーンを配合してなる油中水型乳化組成物。